

## 平成22年度第10回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成22年1月11日(火) 19:00~22:00

[場所] 琉球大学医学部附属病院 管理棟2階・小会議室

[参加者]11名: 上原弘美(患者)、安次富睦子(沖縄県介護支援専門委員協会)、喜納美津男(きなクリニック)、大湾勤子(国立病院機構沖縄病院)、上間 一(オリブ山病院)、伊藤昌徳(ハートライフ病院)、笹良剛史(南部病院)、大城馨(沖縄県福祉保健部医務)、上田真(沖縄県立中部病院)、足立源樹(那覇市立病院)、増田昌人(琉大病院)、佐々木秀章(沖縄赤十字病院)

[欠席者]6名: 島袋恭子(敬愛会中頭病院)、宮川真一(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)、友利健彦(北部地区医師会病院)、中村聖哉(琉大病院)、栗山登至(琉大病院)、棚原陽子(琉大病院)

[陪席者]1名: 松澤智子(琉大病院)

<報告事項>

1. 「平成22年度第9回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」議事要旨について  
平成22年度第9回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨が承認された。
2. 「緩和ケア研修会」修了者数調査について  
伊藤副部長より、県内「緩和ケア研修会」修了者数調査について22年12月中に依頼状を送付することとなっていたが、事務局の業務関係上23年1月中に先送りとなり、2月上旬を回答期限とすることが報告された。
3. 疼痛除去率調査について  
笹良部長より、調査に必要な記録表や集計シートを現在確認中。現在、琉大で行っている疼痛除去率調査をメーリングリスト上で報告してほしいとの要望があった。

<協議事項>

1. 「沖縄県における老健施設からの救急搬送の問題点」について  
沖縄赤十字病院救急看護部長・佐々木秀章先生より、「沖縄県における老健施設からの救急搬送の問題点」について資料3に基づきプレゼンテーションがあった。法規制による救助隊の現状、在宅医や訪問看護のさらなる介入の必要性、全県的フォーマット作成の要望などが話し合われた。
2. 平成22年度事業計画の実績報告と評価について  
伊藤副部長より、平成22年度事業計画の実績報告と評価について2月4日(金)に開催される「がん診療連携協議会」提出資料(資料4)に基づき報告があった。評価点数は数か所加筆修正が必要。
3. 平成23年度緩和ケア部会事業計画と予算案について

伊藤委員より、平成 23 年度緩和ケア部会事業計画と予算案について、「がん診療連携協議会」提出資料（資料 5）に基づき説明があり、がん関連各種イベントへの参加・広報活動費と、新モジュールの追加による「緩和ケアフォローアップ研修会」の年一回開催が追加事業（案）として承認された。

#### 4. その他

●上原委員より、2月6日（日）開催「沖縄県がん対策に関するタウンミーティング」について、テーマの「治療費」に沿った意見交換が出来る会を、一般と行政や医療側が同じ目線で討論する場として設けるとの説明があった。

●増田委員より下記講演会等の報告があった。

①第 111 回沖縄県医師会医学会総会（平成 22 年 12 月 12 日（日））開催

②第 6 回がん臨床研究ワークショップ（平成 23 年 1 月 23 日（日））開催

③多地点合同メディカル・カンファレンス（平成 23 年 1 月 27 日（木））開催

テーマ：院内・地域における「患者必携」の普及と活用に向けて

④第 10 回 沖縄「全人的医療」研究会（平成 23 年 1 月 27 日（木））開催

テーマ：緩和ケアと漢方

⑤市民公開講座 琉球新報健康セミナー2011：「ご存知ですか？大腸がんのこと」

（平成 23 年 1 月 29 日（土））

⑥第 2 回沖縄県医師会県民健康フォーラム「がん医療の今」（平成 23 年 2 月 5 日（土））

※次回開催日について（平成 22 年第 11 回部会：2月8日（火）19：00～開催予定）

## 平成22年度第11回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成22年2月8日(火) 19:15~22:00

[場所] 琉球大学医学部附属病院 管理棟2階・小会議室

[参加者]9名:上原弘美(患者)、喜納美津男(きなクリニック)、大湾勤子(国立病院機構沖縄病院)、伊藤昌徳(ハートライフ病院)、笹良剛史(南部病院)、友利健彦(北部地区医師会病院)、足立源樹(那覇市立病院)、増田昌人(琉大病院)、棚原陽子(琉大病院)

[欠席者]8名:安次富睦子(沖縄県介護支援専門委員協会)、島袋恭子(敬愛会中頭病院)、宮川真一(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)、大城馨(沖縄県福祉保健部医務)、上間一(オリブ山病院)、上田真(沖縄県立中部病院)、中村聖哉(琉大病院)、栗山登至(琉大病院)

[陪席者]1名:松澤智子(琉大病院)

<報告事項>

1. 「平成22年度第10回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」議事要旨について  
平成22年度第10回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨が承認された。
2. 「緩和ケア研修会」修了者数調査について  
伊藤副部長より、県内「緩和ケア研修会」修了者数調査について、調査委依頼文書を1月に事務局より396施設へ発送した。回答回収期限を2/16とし、現段階で122施設からの回答が返ってきている。
3. 「2010 沖縄県緩和ケア研修会」について  
足立委員より、資料2にもとづき、那覇市立病院で開催された「2010 沖縄県緩和ケア研修会」の報告があった。今後の改善点として下記があげられた。
  - ①使用した講義スライドが最新版でなかった。県、もしくは部会事務局により、研修会開催5週間前に学会から最新のスライドをデータで取り寄せ、その資料を使用することが承認された。
  - ②参加者数が予想以上に多かったため、ファシリテータをお願いできる医師が足りず、多くは那覇市立病院の看護師が務めた。今後は、「緩和ケア指導者研修会」修了者リストをもう一度見直し、当日欠員が出た場合に備えて、ファシリテータをお願いできる医師に待機してもらう事が検討された。「緩和ケア指導者研修会」修了者リストを、部会メーリングリストに流すことが承認された。また、各施設にて、ファシリテータ経験のある看護師のリストを、棚原委員の協力のもと4月以降に作成することが承認された。
  - ③本来は医師の研修会であるが、看護師の参加希望が大変多かったため、ロールプレイのグループ分けに苦労した。研修会の質を保つためにも、ドクター(3):ナース(1)の割合で参加人数を受け入れることが承認された。選考にもれた参加希望者は傍聴というかたちで参加できることとなった。

④琉大病院での研修会がなかったため、今回那覇市立病院に多くの参加者が殺到したと考えられるのではないかと話し合われた。琉大病院は離島における研修会だけでなく、琉大病院内での研修会も行うべきであることが協議された。

#### 4. 「平成 22 年度事業計画の実績報告と評価」について

伊藤副部長により、前回の部会で審議された事業計画評価に何点か加筆修正が入ったとの報告があった。増田委員より、今後の部会事業は外部のシンクタンクに委託して年間の数値目標が設定された計画に書き換えてもらい、それをもとに年度末の評価をしていくのが良いのではないかと提案があり、協議の結果、承認された。

#### <協議事項>

##### 1. 疼痛除去率調査について

笹良部長より、平成 22 年度宮下班第 1 回会議（2010/05/05）「がん疼痛施設成績の連続モニタリング：名古屋緩和ケアカンファレンス（Nagoya Palliative Care Conference=名古屋パック【N-PACC】）の取り組み」の資料にもとづき、今後沖縄県内で疼痛除去率調査を行うために使用する質問シートが検討された。2月11日（金）までに、笹良部長により、各協力施設の看護部長宛て文書と質問シートを作成し、事務局へ連絡することが承認された。除痛率調査の目的は、がん患者に対する「痛みの確認作業」を浸透させ、その情報が看護師から医師へ伝達され、患者へフィードバックされることで、患者の QOL を向上させることであることが確認された。

##### 2. 平成 22 年度事業計画の実績報告と評価について

伊藤副部長より、平成 22 年度事業計画の実績報告と評価について 2 月 4 日（金）に開催される「がん診療連携協議会」提出資料（資料 4）に基づき報告があった。評価点数は数か所加筆修正が必要。

##### 3. 平成 23 年度緩和ケア部会事業計画と予算案について

伊藤委員より、平成 23 年度緩和ケア部会事業計画と予算案について、「がん診療連携協議会」提出された資料（資料 5）に基づき説明があり、「緩和ケア研修会」新モジュールの追加による「緩和ケアフォローアップ研修会」の年一回開催と、「石垣島、宮古島がんフォーラム&患者交流会開催（年 2 回）」が追加事業（案）として承認された。予算案については、資料 5-2 が各事業ごとの予算、資料 5-3 各施設ごとにかかる費用となっている。事務局より、この予算については琉大病院の規定をもとに算出しているため各施設で支出費用とは実際異なってくることが報告された。

##### 4. その他

※次回開催日について（平成 22 年第 1 2 回部会：3 月 8 日（火）19：00～開催予定）

## 平成23年度第1回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成23年4月12日（火） 19:30～20:45

[場所] 琉球大学医学部附属病院 管理棟2階・小会議室

[参加者]9名：上原弘美（患者）、大湾勤子（国立病院機構沖縄病院）、宮川真一（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター）、上田真（沖縄県立中部病院）、伊藤昌徳（ハートライフ病院）、笹良剛史（南部病院）、足立源樹（那覇市立病院）、増田昌人（琉大病院）、栗山登至（琉大病院）

[欠席者]8名：安次富睦子（沖縄県介護支援専門委員協会）、島袋恭子（敬愛会中頭病院）、喜納美津男（きなクリニック）、大城馨（沖縄県福祉保健部医務）、上間 一（オリブ山病院）、友利健彦（北部地区医師会病院）、中村聖哉（琉大病院）、棚原陽子（琉大病院）

[陪席者]1名：松澤智子（琉大病院）

<報告事項>

1. 「平成22年度第12・13回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」について

伊藤委員より、平成22年度第12回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会が平成23年3月7日（月）15:00～18:00（平成23年度事業検討会）、第13回が3月18日（金）19:15～22:00（同じく事業検討会）に実施されたとの報告があった。

<協議事項>

1. 琉大主催「平成22年度 第3回沖縄県緩和ケア研修会」開催日程について

事務局より、琉大主催「平成22年度 第3回沖縄県緩和ケア研修会」開催日程について、平成23年9月4日（日）・11日（日）で調整中との報告があった。

2. 緩和ケア部会開催日程について

伊藤委員より、今年度から部会委員の負担軽減のため、定例部会を2ヶ月に1回の開催とし、場合によっては臨時部会を開催することが提案され、全会一致で承認された。

3. 沖縄県緩和ケア基本研修会未受講者数調査について

事務局より、資料1にもとづき、1月に396施設へ送付した調査依頼文書のうちの、122施設からの回答をもとに調査結果が報告された。回答が戻ってきた施設は診療所やクリニックがほとんどで、大手の病院からの回答がなかったため、再度、主要な病院施設に調査依頼をすることとなった。その際、調査内容として、(1)がん診療に全く携わらない医師数、(2)院内における総医師数、(3)緩和ケア基本研修修了者数、(4)緩和ケア基本研修未受講者数を調査することとなった。対象医師は、4月30日時点で勤務している研修医を含む常勤医師とする。また、依頼文書の送付先は緩和ケアチーム及び事務部長宛てにすることが承認された。

#### 4. 平成23年度事業計画について

資料2にもとづき、平成23年度事業計画の検討が行われ、以下8つの事業を進めることが全会一致で承認された。

- 1) 緩和ケアパンフレット作成
- 2) 離島での患者会バックアップと講演会開催
- 3) 緩和ケア研修会未修了者数調査
- 4) 疼痛除去率調査
- 5) 緩和ケア情報シートの分析
- 6) 緩和ケア研修会開催へのバックアップ
- 7) 緩和ケアフォローアップ研修会開催
- 8) 看取りを施設で行うための勉強会